

生育診断ほ調査結果と今後の管理

令和 7 (2025) 年 6 月 26 日

那須農業振興事務所

- ・ 水管理：今後も間断かん水を継続しましょう
- ・ 防 除：斑点米カメムシ対策の準備を始めましょう
- ・ 管内北部：前年より草丈は高く、茎数は多い
- ・ 管内南部：草丈は前年より高く、生育は概ね前年並み

1 現在の生育状況

水稻生育診断ほ調査結果(調査日：6/23、品種：コシヒカリ、施肥：全量基肥)

調査地点	移植日	草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	葉齢	葉色 (葉色板)	生育診断値 (葉色×茎数)
北部 (那須町寺子丙)	5/10	53.8	507	9.9	4.4	2,248
		115%	117%	+0.5	-0.1	115%
南部 (那須塩原市一区町)	5/2	64.8	592	10.0	4.6	2,705
		111%	96%	-1.5	+0.1	97%

※下段は前年比及び前年差、南部は前年と栽植密度が異なるため下段は参考値

- ・ 草丈：北部、南部ともに前年より高い
- ・ 茎数：北部は前年より多く、南部は前年並み
- ・ 葉齢：前年と比べて北部は 0.5 枚多く、南部は 1.5 枚少ない
- ・ 葉色：北部、南部ともに前年並み

2 今後の管理

(1) 水管理

① 間断かん水未実施ほ場

→1 株茎数を確認して、間断かん水を開始しましょう。

② すでに間断かん水を実施しているほ場

→このまま間断かん水を継続しましょう。

また、出穂期（ほ場全体の 4～5 割が出穂）頃は最も水を必要とする時期です。その時期は水量が不足しないよう、かん水の間隔を短くすることを心がけましょう。

間断かん水開始のタイミング

栽植密度	1 株茎数
50 株/坪	20 本
60 株/坪	16 本
70 株/坪	14 本

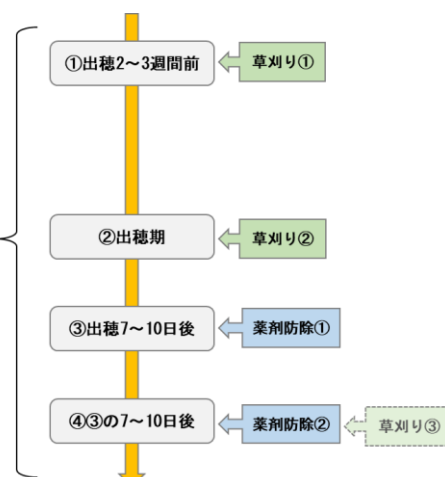
イネの生育ステージごとの水を入れるタイミング

生育ステージ	水を入れるタイミング
目標茎数確保前～出穂期前	ほ場の足跡に水が残るくらい
出穂期前～出穂後 30 日	田面が露出する前 (水がなくならないように注意！)

(2) 斑点米カメムシ対策

- ・斑点米カメムシは、畦畔のイネ科雑草の実を
経路しては場内へ侵入することがあります。
斑点米カメムシによる被害防止のために、畦
畔の草刈りは①出穂期 2～3 週間前、②出穂
期頃の計 2 回行いましょう。出穂後の 2～3
週間後にも行くと、さらに効果的です。
- ・薬剤散布は、地域一斉防除が効果的です。
薬剤散布の適期は、1 回目：出穂期の 7～10
日後、2 回目：1 回目の 7～10 日後です。

出穂前後6週間は、
イネ科雑草を
結実させない！



草刈りと薬剤防除のタイミング

3 気象の経過

R7 アメダスデータ

地点	期間	日平均気温 (°C)			積算降水量 (mm)			積算日照時間 (時間)		
		本年	平年	平年差	本年	平年	平年比	本年	平年	平年比
北部 (黒磯)	6/9～ 6/22	22.2	19.1	3.1	5.3	6.3	84%	4.8	3.8	125%
南部 (大田原)		23.5	19.9	3.6	4.9	6.3	78%	5.1	4.0	127%

- ・平均気温は、平年より 3.1℃ (北部)、3.6℃ (南部) 高かった
- ・積算降水量は、平年比 84% (北部)、78% (南部) と少なかった
- ・積算日照時間は、平年比 125% (北部)、127% (南部) とかなり多かった

(参考) 今後の気象 (関東甲信越地方 1 ヶ月予報、6/19 気象庁発表)

気温、降水量、日照時間の各階級の確率 (%)			
気温	関東甲信越地方	向こう 1 か月 06/21～07/20	10 10 80
		1 週目 06/21～06/27	10 10 80
		2 週目 06/28～07/04	10 20 70
		3～4 週目 07/05～07/18	10 30 60
降水量	関東甲信越地方	向こう 1 か月 06/21～07/20	50 30 20
日照時間	関東甲信越地方	向こう 1 か月 06/21～07/20	20 30 50

向こう 1 ヶ月の気象予報

- ・気 温： 高い確率 80%
- ・降 水 量： 少ない確率 50%
- ・日照時間： 多い確率 50%



今後は生育が早まる可能性が高い

→畦畔の草刈り、薬剤防除の準備を
早めに行いましょう



7月～8月は「農作業中の熱中症による死亡事故」が集中します。
「自分だけは大丈夫」と思わないで、こまめな休息、水分補給を！